

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	6-3
PDCA	主要事業名	入札・契約管理事務	部課名	総務部総務課	担当	園田
					内線	250
P	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営 全体事業期間： 令和 5 年度 ~ 5 年度 全体事業費等： 136 千円 会計 一般会計 歳出科目： 02.01.01.30.01	事業概要等 事業概要： 公共事業を実施するにあたり、公平性・透明性・競争性が担保された入札、契約事務が全庁的に実施できるよう推進する。 事業目的： 確保を前提とした入札制度を運用し地元経済の活性化に寄与する。また、市が発注する請負工事等の適正かつ良質な履行を確保する。 事業内容： ・競争入札参加資格及び格付けに係る審査並びに届出事項変更等の整理 ・入札、契約事務における運用や制度の見直し、官製談合防止等職員研修の実施 ・指名競争入札等の参加業者の選定に係る審査 ・工事成績評価及び請負業者への指導等 問題点： ・市内業者の入札参加機会が確保されるよう更なる周知徹底 課題等： ・全庁的に入札契約に関する適正な事務処理が執行できるよう周知徹底				
D	予算額 136 千円 財源内訳 市費 136 千円 国費 0 千円 県費 0 千円 その他 0 千円	主要事業とする理由 公費を原資とする公共事業において、公平かつ公正な競争性の担保及び工事等目的物の品質確保は必要不可欠であり、また、地産地消の理念で地元経済の活性化が図られるよう統括する事業のため。 得られる成果 入札、契約事務が適法に遂行されることで、公平かつ公正で透明性の高い公共事業の実施に繋がる。 目標値や目指すべき状態 令和3年度 令和4年度 令和5年度 単位 入札における市内業者指名案件率（建設工事） 実績値 94.9 98.0 — % 目標値 95.0 95.0 95.0 % 入札における市内業者指名案件率（物品等） 実績値 76.6 80.0 — % 目標値 85.0 85.0 85.0 % 工事等成績評価点の平均点 実績値 76.8 77.3 — 点 目標値 77.0 77.0 77.0 点				
C	決算額 122 千円 得られた成果と実績	得られた成果 半田市公共調達における地元企業の受注機会の拡大及び地産地消の推進に関する実施方針に基づき、市内業者の優先発注に努めた結果、昨年度までと比べ、物品等の市内業者の指名案件率は1.3ポイントの上昇となった。工事成績評価点については、昨年度より全体で0.6ポイント下降した。 成果指標 令和5年度 単位 入札における市内業者指名案件率（建設工事） 実績値 88.6 % 目標値 95.0 % 入札における市内業者指名案件率（物品等） 実績値 81.3 % 目標値 85.0 % 工事等成績評価点の平均点 実績値 76.7 点 目標値 77.0 点				
A	課題の整理 事業の評価・課題 今後の事業の方向性	D 市内指名業者案件率は、令和5年度の対前年比で、建設工事は9.4ポイントの下降、物品等で1.3ポイント上昇となっているが、工事は市内業者が施工できない特殊な入札案件が多かった令和5年度特有の事情があるため、総じて、市内業者の受注機会を拡充する実施方針に即した実績と評価している。工事等成績評価点については、昨年度より工事発注件数が増加し完了日が年度末に集中する状況の中、現場管理の質の低下が平均点の下降につながったものと推測する。年度末完了の件数の増加は品質低下のリスク要素となるため、工事発注課の人員補強も含めた工事発注の平準化、円滑化が課題である。発注者協議会の課題となっていた「週休2日制工事」について実施要領、内部運用を定め、令和6年度からの本格実施に備えた。				
今課後題の解決方に性向けた	今後の事業の方向性	改善推進 引き続き、指名競争入札における市内業者の入札参加機会の確保に努めるとともに、適宜入札制度自体も見直しながら、公正・公平な入札が行われるよう不断の制度見直しに努める。検査については、工事等の品質向上のためには監督職員の資質向上が不可欠であるため、引き続き検査時の指導を手厚く行うとともに、工事発注課の技術者の経験量不足を改善する必要がある。また、法律の改正、国よりの通達などを適切に工事監理等に反映できるよう、建設部局の勉強会等の場において周知・指導していく。				
		観点別評価 必要性 有効性 効率性 ①市の関与の妥当性 妥当 ④上位施策への貢献 大きい ⑦コスト削減余地 ない ②市民ニーズ 一 ⑤成果向上の余地 ある ⑧受益者負担適正化余地 一 ③休廃止の影響 大きい ⑥類似事業の有無 ない				